

JR東日本労働組合

秋田ジャーナル

JR東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ～ 笹渕 太郎

編集者 ～ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



HPはこちら！

秋田総合車両センターの業務計画について申し入れ提出！

**南秋田センターは
秋田総合車両センターだ！**

地方本部は2月4日、秋田支社より秋田総合車両センターの業務計画の提案を受けた。来年度4月1日時点で予定をしている業務量と、今後の工事量が半導体の供給次第では先送りとなる可能性がある事を確認した。

しかし！

今年度から組織再編で統合された、南秋田センターの業務量は一切提示されることはなかった。会社は「旧土崎工場について業務量の提案を労使間で行う事となっている」と回答したが、出面数では南秋田センター当直を含んだ人数を提示している。今回の提案は秋田総合車両センターについての業務量の提案であり、組織再編はよりよい業務体制を構築するために会社の施策として実施したはずだ。それにも関わらず、旧土崎という名称が交渉の場に出てくる時点で大きく認識が労使間でズレている事は明らかだ！

この認識のズレが生じないように、組織再編後、交渉の場で何度も南秋田センターは秋田総合車両センターの科の位置づけである事を会社へ伝え、今後の施策や提案は南秋田センターも含んだ取組をすると労使間で確認をしてくれている。

先行きが見えず、黒字化も厳しい現状の中、如何に会社と社員との齟齬を無くし、究極の安全を担保しながら黒字化という1つの目標に社員全員が歩みを揃えていくかが重要ではないだろうか。この齟齬を無くすため、来年度の南秋田センターの業務量を明確にし、今後も労使間の認識を一致させることで黒字化に向けて誠心誠意協力をしながら歩を進めて行くために、申6号を3月2日付で会社へ提出した。



委託業務が異常事態で滞ったら…？

2022年1月21日に行った申3号「グループ会社と一体となった業務執行の拡大について」の交渉議論から

組合「新型コロナ等により、専門知識が必要な委託業務作業で支障が出てしまう場合、委託先で人員を確保するのか。」

会社『異常時は想定していない。対応は決まっていないため、JRで行う等柔軟に対応をする。』

新型コロナウイルスが報道されてからすでに2年が経過している。「With コロナ」とまで明言されている現在で、対応を想定していないとは如何がなものだろうか？また、柔軟な対応と会社は回答している。ダイヤ改正から柔軟な働き方の実現と題して駅、運輸区が組織再編される。柔軟という言葉が頻りに耳にする様になったが、私たち社員にとって良い意味での柔軟な働き方、対応となっていくのか、労働組合としてのチェック機能を果たしていかなければならない。そして、私たち社員がこの柔軟性を活かし、異常時を含め、会社を盛り上げていけるよう中心となっていかなければならない。

【共通】

1. 秋田総合車両センターと南秋田センターが在来線メンテナンス部門として集約されたが、特化されている業務に変更があるのか明らかにされたい。
2. 2024年の機関車全廃計画に変更があるのか明らかにされたい。
3. 電気機関車、気動車の年間廃車解体予定数を明らかにされたい。
4. 天井クレーン運転士免許を所持している人は、管理者を含め機関車検修場、旅客車解き装場の天井クレーン運転士に指定をされたい。
5. 内燃機検修棟の夏季における遮光対策を講じられたい。
6. 秋田総合車両センターの強みである技術・技能を更に活用するため、事業用車両や保守用機械の受注を検討されたい。
7. 民間受託を受けている民鉄、臨海鉄道に積極的に検修技術支援を行うとともに、他の民鉄や臨海鉄道の受託工事の拡大を検討されたい。
8. 2022年度も年休懲添日を設けるのか明らかにされたい。
9. エルダー再雇用を希望していても未だに提示がされていない社員もいるため、不安のない様に提示をされたい。また提示が遅れる場合には理由を伝えるようにされたい。
10. 新型コロナウイルス感染症対策として、非接触式電子体温計を新規に設置されたい。またマスクの支給にあたっては、秋田総合車両センター内での取り扱いが異なるため、個人に箱での支給とされたい。
11. 洋式トイレに便座除菌シート、各洗面所に除菌スプレーを配置されたい。
12. 部品塗装場の雨漏れを早急に改善されたい。

【保全科】

1. 機関車検修場主棟に配置されているリフティングジャッキの使用計画を明らかにされたい。
2. 機関車検修場主棟秋田側の側面に遮光対策を講じられたい。

【改造工事及び諸種工事】

1. 主な改造工事については新規工事となる E231系 800 代、諸種工事では新規工事として GV-E400 系、キヤ 195 系エンジン検修が行われるが、図面、支給材、仕様書など漏れのないように手配をされたい。

【南秋田センター】

1. 南秋田センターの業務量を明らかにされたい。装置保全(701系)、交番検査(DC、FC)、機能保全(701系、E751系、GV、EV、HB)、仕業検査について明らかにされたい。
2. 洗浄線ピット内に雪が溜まり作業が困難なため、ピット内の融雪作業を実施されたい。また、この融雪作業を行うのは誰なのか明らかにされたい。

